

第4回 第3次千葉市議会運営活性化推進協議会 協議概要

- 1 日時 令和6年2月15日（木）
午前10時から午前10時49分まで
- 2 会場 千葉市役所低層棟6階 第1委員会室
- 3 出席者 （委員）石川弘委員長、麻生紀雄副委員長、
伊藤隆広委員、前田健一郎委員、中島賢治委員、三須和夫委員、田畑直子委員、川合隆史委員、伊藤康平委員、森山和博委員、梶澤洋平委員、中村公江委員、守屋聡委員
（オブザーバー）黒澤和泉議員
（事務局）議会事務局長 他11人
- 4 傍聴者 （報道関係）なし
（一般傍聴者）なし

5 協議事項及び協議結果

（1）委員会機能の充実について

<協議内容>

令和6年度の所管事務調査に向けた、改善・取組促進に関する協議項目のうち、年間調査テーマの事前意見募集の仕組みづくりと、委員間討議を用いたテーマ選定や所信表明への反映方法について、正副委員長私案のたたき台を基に協議を行った。

<主な意見>

- ・年間調査テーマの選定は、委員の意見を参考にしつつも、委員長の提案を尊重して進めるべきであり、調査書により提出された各委員の意見が過度に重要視されると、委員長のリーダーシップが損なわれることが懸念される。
- ・委員長が、調査書により提出された各委員の意見を事前に集約して年間調査テーマを設定したうえで、当該テーマについて委員間討議を用いて所信表明に盛り込む内容を協議する時間を確保することが望ましい。
- ・テーマ選定に係る委員会開催時に、各委員が調査書に記載した内容の補足説明等を行い委員間討議による意見交換を行ったのち、最終的に委員長が年間調査テーマを決定していくことで、所信表明の内容にも委員の意見を反映できると考える。
- ・各委員に調査表を提出してもらうことや、委員間討議によるテーマ選定を行うことで、所信表明に盛り込む内容も一層充実されると思うが、所管事務調査は委員長のリーダーシップの下に行われるものであり、所信表明にあたっては、委員長の取組方針や気持ちが十分に反映されることが大切である。

<協議結果>

【事前意見募集の手法と年間調査テーマの選定方法】

- ①第2回定例会開会前に、議会事務局から全議員に対して所管事務調査事項調査書を配付。

- ②調査書には、各委員が希望する所管事務調査のテーマと、そのテーマに関する調査理由や本市の課題等について記載し、第2回定例会で行なわれる常任委員選任・正副委員長互選のための委員会開催時に、所属する委員長あてに提出。
- ③委員長あてに提出された調査書は、事務局にて記載事項を一覧表としてとりまとめ各委員に配付。
- ④年間調査テーマの選定について協議を行う委員会開催時には、一覧表を参照しながら提案された各委員の意見を基に、委員間討議を用いて設定するテーマ選定を協議。
- ⑤年間調査テーマの決定は、各委員の意見を参照しながら、委員長主導の下で最終判断を行うものとする。

【所信表明】

所管事務調査は、委員長のリーダーシップの下に行われるものであり、所信表明にあたっては、年間調査テーマ選定に係る委員間討議での意見を盛り込みつつ、委員長の年間調査テーマに対する姿勢や思いが十分に伝わるよう実施する。

(2) 議会のデジタル化の推進について

①オンライン会議の導入について

<協議内容>

第3回協議会において、千葉市議会オンラインによる方法を活用した委員会に関する要綱案について、委員長が必要と認めた場合の執行部説明員のオンライン出席及びオンライン出席に必要な申請書提出期限の特例を設けることが決定されたことから、事務局から修正案の説明が行われた。

<主な意見>

特になし

<協議結果>

千葉市議会オンラインによる方法を活用した委員会に関する要綱案について、修正案のとおりとすることが決定された。

また、オンライン委員会の開催に係る（千葉市議会）委員会条例及び（千葉市議会）会議規則の一部改正議案を令和6年第1回定例会に提出することとし、運用開始時期については、同年第2回定例会以降に開催される委員会等とすることが了承された。

②音声認識システムの活用の検討について

<協議内容>

音声認識システムの概要（導入目的、システムイメージ、概算経費、スケジュール、他自治体の状況等）を提示し、意見交換を行った。

<主な意見>

- ・字幕を表示するモニターの配置のイメージを確認したい。

- ・音声認識システムはいいと思うが、執行部の答弁の際、マイクから離れると聞こえにくいため、マイクを近づけて答弁するようにしてほしい。
- ・議事録作成での変換したデータの活用やインターネット中継での利用など、今後の方針はどのようになっているのか確認したい。
- ・字幕については傍聴者だけでなく、議員も見られるようにしてほしい。
- ・このシステムの契約は、単年度契約のため、まずはこれを使い、検証しながらステップアップ、あるいはいい技術があったらそれに切り替えたいと思っている。
- ・誤変換はどれくらいの率か、インターネットの生中継や録画放映に展開していくことは可能なのか確認したい。

<協議結果>

令和6年第2回定例会で試行運用を行って字幕表示を確認し、第3回定例会からの本格運用を目指して準備を進めることとなった。

6 次回の開催日程について

別途日程調整を行った上で、第1回定例会中に開催することとした。